

婦人トシテノ立場カラ産児制限

今 吉 静 枝

於婦人トシテノ立場カラ現今ノ日本婦人ニ産児ノ制限カ最モ必要ナル事ヲ脚註シ度イト思ヒマス

今日新聞ニ雜誌ニ日本婦人ノ産児ノ劇ニ見暁ノ聲カ旺ニ定傳ルレ婦人ノ自由解放又今般同類等ニ於テ所々ノ諸嬢脚高説ヲ散見スルハ妾者婦人ノ最モ光榮トス人所テアリマス

今ノ日本ノ婦人ノ問題ハ有産無産ノ各婦人ハ或ハ困窮ノ事情又ハ物負ノ虐勞トナシテ一生ヲ暗涙ノ中ニ過ス者カ少クナリ僅ニ思ハシマス

有産階級ノ脚婦人連ハ下女下男ノ手ニ依リ何程カ慰安ノ上矣アルトテ社会組織大ニ多数ノ無資産産階級ノ脚婦人連ノ内ニ無自覚ノ男子ヲ虐ケラレ外ニハ物負人

其他ノアラユル方面ニ除外視セシ加之此苦痛ノ中ニ級数人カノ子供ヲ成育スルノ苦心スルハ真ニ憐情思ヒヤンバシテハアリマセシカ、日本ニ於ケン目下ノ産児ノ出生ハ一年

約七十五万人ニシテ之ヲ日ニ配分セハ一日約三千人屈トナルトウニ其ノ最モ産児率ノ大部ハ實ニ無資産者ナリトハ驚クヨリ恐懼ニ堪ヘ又次オデアリマス此生活ニ困難ナル無

資産階級者ノ子供リ相当ノ教育ヲナス能弁ノミカ不良少年少女ヲ現出スルノ果敢ナキ結果ヲ来ス之決テ其ノ極致生活者ノ罪ニアラスシテ社会ノ罪ト云ハズナリマセン

之要ニ斯ル無資産階級者ニ何等國家ノ援助ナク保護ナク相当ノ教育ノ不足カラ来ス結果ニ外ナラヌノテノリマ

茲ニ於テ産児制限問題カ痛切ニ論セラルハ当然ノ理